

1 期目 磯田市政 4 年間(平成 28. 10~令和 2. 9)の成果【抜粋】

1. がんばる市民を応援します！

- 県内で初めて「子ども食堂」の運営費用を補助
- 性的少数者(LGBT)の理解促進・支援のため、講演会の開催や相談体制の強化を実施
- 市民活動団体奨励金を創設

2. 子どもは宝、みんなで育てます！

- 中学校卒業までの通院費を助成
- 産後サポートを拡充(ままりらにイブニング枠を新設、宿泊型産後ケアを開始、多胎児家庭への支援拡充、家事・育児の援助サービスの利用助成を拡充)
- 子どもの貧困対策の推進(子どもナビゲーター配置、学習塾受講支援)
- 小中学校・高等総合支援学校の全普通教室に冷房設置
- 県内で初めてロボット型端末のプログラミング授業を全小学校で実施
- 児童生徒1人1台端末の整備、全小中学校に高速ネットワーク環境を整備(R3.2 完了予定)

3. 高齢者が安心して暮らせる医療・福祉先進都市をめざします！

- ICT を活用した医療・介護情報連携システム「フェニックスネット」の利用推進(H28. 12:86 団体 1,200 人 →R2.6:184 団体 6,666 人)
- 認知症支援「オレンジカフェ」の拡充(28 年度 7 か所 1,325 人→元年度 15 か所 3,064 人)

4. 中山間地と支所地域を守ります！

- 山古志・小国・寺泊診療所を継続し、地域の医療体制を確保
- 過疎地域に集落支援員 11 人を配置し、交流・見守りの場「よったかり場」を7か所開設
- 市外から「地域おこし協力隊」を採用し、市内定住を実現
- 栃尾地域の公共施設を統合した交流拠点の整備に着手
- 川口・三島・小国地域の安全安心な道路環境確保のため包括的維持管理を実施
- 与板地域商店街の活性化を図るアーケード修繕を支援

5. 交流人口を増やし、活力あるまちをつくります！

- ふるさと納税を活用した長岡ファンの獲得
(H28 年度:9,037 件 1 億 6,605 万円→R1 年度:73,408 件 18 億 9,032 万 9,731 円)
- 県内初の「スポーツ推進条例」を制定してスポーツによるまちづくりを推進
- 旧機那サフラン酒本舗を活用した観光拠点施設を整備

- 長岡花火を核にした情報発信拠点・道の駅「ながおか花火館」を整備
- もみじ園に「もみじの茶屋」を整備
- 花火大会の安全な運営や年間を通じたプロモーションを展開する長岡花火財団を創設
- 外国人市民が暮らしやすいまちを目指した多言語対応の強化
- パークアンドライド駐車場の整備を推進(前川駅、来迎寺駅、寺泊駅)
- 拠点性を高める幹線道路網を整備(長岡北スマートIC開通、大積スマートIC(仮称)調査検討(国の準備段階調査箇所を選定)、長岡ニュータウン連絡道路整備事業着手、左岸バイパス南北延伸整備推進(長岡北SIC～長岡南越SIC)、越路原バイパス整備(越路～小国地域))

6. 地域地場産業の支援と企業誘致で魅力的な仕事を創出します！

- ものづくり産業の技術高度化・高付加価値化を各種補助事業で下支え
- 4大学1高専・商工会議所とNaDeC構想を推進(地方創生推進交付金認定)
- イノベーションモデルプロジェクトの実施(介護、AI、水で産学連携)
- 長岡バイオエコノミーコンソーシアムを結成してシンポジウムを開催(長岡技大・産総研と共催)
- 起業家育成プログラムの構築(起業支援センターの年間相談件数 255 件・起業件数 33 件)、学生起業家創出モデル事業による起業促進(学生起業家4件誕生)
- 働き方プラス応援プロジェクトの開始と長岡市地元就職・インターンシップ協議会の立ち上げ
- グローバル人材活躍推進協議会を産業界と設立して外国人材採用・活用セミナーを開催
- がんばる地域企業を応援する条例を商工会等と連携して制定
- ホノルルとの経済交流(山信織物・イオラニ社のアロハシャツ共同開発、スーパーマルカイが長岡フェア)
- 長岡北スマート流通産業団地の整備・分譲
- 長岡版スマートアグリ推進
- 「ながおかしひかり『金匠』」を全国展開
- 「地理的表示(GI)保護制度」で地場産食材のブランド化を支援(山古志かぐらなんばん、大口れんこん)
- 住宅・空き家リフォーム費用の助成事業を継続
- 長岡版イノベーションの拠点「米百俵プレイス(仮称)」事業に着手

7. 市民の不安が解消されない限り、原発は再稼働すべきでないという姿勢を貫きます。

- 「市町村による原子力安全対策に関する研究会(代表幹事:長岡市長)」の取り組み継続
- 市長が福島第一原発(H29.9、R2.1)、柏崎刈羽原発(H29.10)を視察
- 県内自治体で初めて原子力防災ホームページを開設(スマートフォン対応)
- 原子力防災訓練を県と連携して実施(R1.11、R2.10 予定)
- 安定ヨウ素剤を本庁、支所等に分散備蓄

8. 防災対策強化

- 河川流域の治水安全度の向上と浸水対策の強化(河川改修、雨水貯留管・排水ポンプ場の整備等)
- 大河津分水路改修事業を促進

- 最大規模の降雨を想定した洪水ハザードマップを策定
- 緊急時に町内会長等へ一斉に電話配信するシステムを導入
- 消防団車両等を更新(小型ポンプ付き軽積載車 21 台、軽積載車6台、小型ポンプ 31 台)
- 災害対応用ドローン 2 機を新規導入
- 安全安心な生活道路確保のため4m未満の狭あい道路を拡幅整備
- 栃尾地域防災拠点として防災ヘリポートの整備に着手
- 除雪体制の維持、冬期間の安全安心の確保のため、道路除雪待機料前払いを実施
- 鳥獣被害の防止対策の強化(新組織を設置)

9. 新型コロナウイルス対応

- 感染症拡大防止のため市内基幹病院・医療機関を支援
- PCR検査センター立ち上げ支援・運営に対する報奨金
- 中小企業の固定費(賃貸料など)の負担軽減を図る「事業継続緊急支援金」を創設
- 事業継続計画(BCP)に基づくサテライトオフィス開設に係る支援制度を創設
- 障害福祉サービス事業所等・介護サービス事業所にマスク、手指消毒液等を配布(事業所数 860 か所)
- 減収となった障害者就労継続支援事業所に支援金を給付
- ひとり親家庭に対して市独自に児童扶養手当支給額を上乗せ支給
- 公立保育園・児童館・児童クラブに温水設備、児童室にエアコンを整備
- 私立保育園・認定こども園等に消毒液等の必要な物品の購入費用を補助

10. その他(行財政改革等)

- 「長岡市持続可能な行財政のあり方に関する有識者懇談会」を設置して行財政の確立に着手
- 市税などのクレジットカード納付を開始(県内 20 市初)
- AI-OCRやRPAを活用した市役所事務の自動化を推進